

第2087号

2023年1月14日  
日本共産党根室市議団  
根室市宝林町4-203  
TEL 23-6023  
FAX 24-1684

# 「根室の未来を考える 子ども会議」開催

2023年12月25日、市総合文化会館にて、「根室の未来を考える 令和5年度根室子ども会議」（主催：根室市教育委員会、共催：根室市生徒指導連絡協議会）が開催されました。



写真は開会式の様子

**目的** いじめの根絶に向けて子どもたちが主体的に考える機会を作るとともに、児童会・生徒会が中心となって課題を解決していこうとする自治力を高め、本会議後からの自校の取組の実践につなげる。

（写真は根室高校演劇部）  
参加した36人の児童生徒は校区ごとに6つのグループ



今まで、「ジェンダー平等」や「差別」について、子ども会議を通してさまざまな視点から学びを深めてきて、「みんな違っていい」「ほっこりした気持ち」が大切ということになりました。今回は、「みんな違っていい」学校生活とはどのような生活なのか？「インクルーシブ」という言葉をキーワードに考えていくことを狙いとしています。

ループに分かれて、アニメや根室高校演劇部の寸劇を通じて感じたことを話し合いました。



（写真は各グループの話し合いの様子）

グループ協議では、「インクルーシブって何？」「インクルーシブな社会とは？」「インクルーシブな学校生活にするためには？」について、各グループで活発な協議が重ねられました。

- ①インクルーシブとは？  
「みんな平等」「尊重」「認め合い」「協力」「助け合い」などのキーワードが出されました。
- ②インクルーシブな社会とは？  
「不便がない」「障害を持つ人が過ごしやすい」「お互いを認め合い自由に暮らせる」などの意見がありました。
- ③インクルーシブな学校生活とは？  
「違いを受け入れ理解する」「スロープ、多目的トイレなどの環境整備」「LGBTQに配慮した制服」等が発表されました。

最後に、市生徒指導連絡協議会長の増田慎一拍 陵中学校長が、各グループの発言を踏まえた上で、まとめの発言として、「インクルーシブは難しいことではなく、日常の中にあること。困っている人がいたら助けてあげる、そんな学校にしてほしい」と述べました。  
（文責：鈴木一彦）